

8/

渋谷ヒカリエの8階「Creative Space 8/ (ハチ)」。

かつてこの地にあった、「東急文化会館」のDNAを受け継ぎ、2012年4月の開業以来、渋谷らしい新しいクリエイションの可能性を探りながら活動を続けてきました。

このアーカイブレポートでは、ひとつの節目として2019年から2023年までの8/で生まれた取り組み、8/ならではの場面、8/を支える人たちに注目し、さまざまな活動の軌跡をご紹介します。

これまでの8/を一緒につくりあげてきたみなさまへの感謝と共に、これからの8/を一緒につくりあげていくみなさまの一助となれば幸いです。

Concept	4
Floor Guide	5
Activity Report	
01 / COURT	6
02 / CUBE	10
03 / SHIBUYA maru-maru BOOKS	14
04 / d47 MUSEUM	18
05 / Bunkamura Gallery 8/	22
06 / d47 SHOKUDO	26
07 / Creative Lounge MOV	30
08 / TV	34
/ SHIBUYA WANDERING CRAFT	36
Data	38
Voices	39
Archives	40

人と人をつなぎ、新しいクリエイションの可能性を探る場所となる。

8/に集まる人々は、これらのキーワードを意識して活動を行ないます。

1. シブヤらしいこと

突出したリーダーを立てるよりも、多くのクリエイションが混ざり合い新しさを生むスタイル。

2. 続けること

みんなの場所として継続していくルールをつくり、クリエイターの普段になるようにします。

3. キュレーション

フロアの企画のひとつひとつを、時代に照らし合わせてキュレーションしていきます。

4. 交流すること

さまざまな発想を持つクリエイターの交流を応援します。場としての集まりやすさを考えます。

5. コミュニティ

人が人を連れてきやすいように、そういうつながりを大切にしていきます。

6. 編集していくこと

ただ情報を展示するのではなく、このフロアならではの編集で新しいビジョンを提示します。

7. 具体的にする

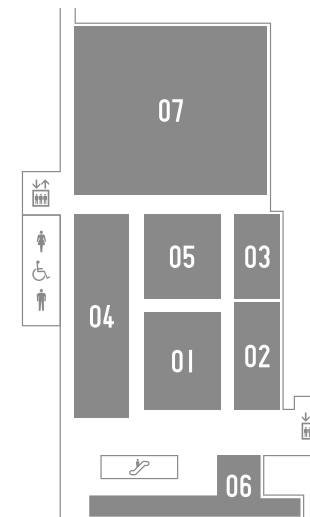
コンセプトに終わらず、必ず見える状態まで、買える状態までをゴールとします。

8. 人を育てる

世代に関係なく交流し、常に人を育てる発想で取り組みます。

Creative Space 8/

8/は、イベントスペース「COURT」を中心に、強い意志を持ったコミティメンバーにより運営されています。渋谷らしいこと、交流すること、続けること、編集していくこと、人を育てること……。これらのキーワードを意識して、ゆるやかに重なり合い、つくられていく力に、クリエイションが響き合い、サロンのように人々が集まる場所を目指しています。



01/COURT

渋谷らしい交流のために開かれたイベントスペース

02/CUBE 1, 2, 3

さまざまなクリエイターが登場するギャラリースペース

03/SHIBUYA maru-maru BOOKS

みんなで作る、新しいかたちの本屋さん

04/d47 MUSEUM

47 都道府県のデザインミュージアム

05/Bunkamura Gallery 8/

良質なアトライフとの出会いを提供するギャラリー

06/d47 SHOKUDO

47 都道府県の定食屋レストラン

07/Creative Lounge MOV

これからの働き方を実践するメンバー制コワーキングラウンジ



JUNCTION 蒐集物と制作物が交錯する、ものやのポップアップショップ
 ●会期: 2023年5月25日-5月30日 ●来場者数: 約350人 ●主催: 一般社団法人530、ものや ●協力: 村田美沙



Hand Saw Press 春のZINE祭
 ●会期: 2023年5月3日-5月7日 ●来場者数: 約3,000人 ●主催: Hand Saw Press

つながり、発信する、クリエイティブの集会所

フロアを中心に位置する、イベントスペース「COURT」。グリーンカーペットが印象的でオープンな空間は、緩やかにフロア全体へつながりを演出します。これまでに開催された約1,200の企画を通して、さまざまな分野の若い才能や社会に向けた新しい取り組みが、展示やワークショップ、トークやマーケットなどの形式でここから発信されてきました。さらに、つくり手と使い手、個人と社会、地域と東京など、この場所で生まれた多くのつながりが、新たなプロジェクトの種となり、「COURT」から渋谷、そして世界へと拡がり続けています。これからも「クリエイティブの集会所」となることを目指し、さまざまな活動を支援していきます。



カフェゼミ #59

みんなでダイバーシティ社会のキャリア・ストーリーを聞こう

社会人や大学生が組織の枠を飛び越えて集う、大学のオープンゼミ

「創造的なコラボレーションのデザイン」というテーマを掲げる法政大学経営学部・長岡研究室は、街の中でオープンゼミを展開しながら、大学や企業の垣根を越えた「創造的な対話の場づくり」にチャレンジする、「カフェゼミ」というプロジェクトに取り組んでいます。この日はNPO法人ピープルデザイン研究所の田中さんを語り部に迎え、ダイバーシティ社会のキャリア・ストーリーについて考えました。ソーシャル・デザイナー、研究者、アーティストなど、多様なゲスト・スピーカーを迎える「カフェゼミ」は、自由な雰囲気をもつインフォーマルな場であると同時に、見知らぬ他者との出会いや交流を生み出すパブリックな場であることを目指しています。

●会期: 2023年11月30日 ●来場者数: 約60人 ●企画: 法政大学長岡研究室 (MELC)



MONSTER Exhibition 2023 - 新しい怪獣展 -

“Kaiju” (MONSTER) をテーマにさまざまな表現を見せるアーティストたち

2013年から毎年「COURT」を会場に展開し、2023年には11回目の開催を迎えた現代アーティストの展覧会です。日本では、山や海、風、草木、家、あらゆるものに神がいると信じる一方で、自然や全てのものに対しても恐ろしい存在を感じ、「Kaiju」(MONSTER)を生み出しました。「MONSTER Exhibition」は東日本大震災をきっかけにはじまり、何もかものみ込んだ津波をメタファーに「Kaiju」(MONSTER)をテーマとしたアートプロジェクトとして活動を続けています。日本独自のコンテキストを持ち合わせる「Kaiju」(MONSTER)の解釈はアーティストに委ねられます。自由な発想による作品はジャンルの垣根を超え、毎年多様な作品が「COURT」に現れます。

●会期: 2023年9月9日-9月13日 ●来場者数: 約2,300人 ●企画: 一般社団法人Evolue Art & Design Japan

02/CUBE 1,2,3



SHIKAKUーシカクい生地と絵から生まれた服たちー
●会期: 2020年7月1日~7月20日 ●来場者数: 約3,200人 ●主催: 株式会社STUDEO
photo by Sayuki INOUE



角文平 個展「宇宙の船舟」
●会期: 2020年4月22日~5月8日 ●来場者数: 約3,400人 ●主催: アートフロントギャラリー
photo by Hiroshi Noguchi 提供: Art Front Gallery

さまざまな表現に挑戦するレンタルギャラリー

ディレクションされた展覧会向けのリースギャラリー「CUBE」。約100平方メートルの空間は、シンプルな展示から、隣り合うイベントスペース「COURT」を含めた一体的な企画展開まで、幅広い演出のできるギャラリーです。年間を通じた企画公募により、開館から400以上の企画が開催されてきました。アート・工芸作品の展覧会をはじめ、建築・ファッション・プロダクトなどデザイン分野のプレゼンテーションやポップアップ販売、地域の伝統・文化・ものづくりに関するプロモーションなど、8/ならではの、ジャンルにとらわれないさまざまな表現に挑戦し続け、いつ訪れても新鮮な発見がある場所です。



僕らが好きな器を持って 沖縄からやってきました。
mofgmona no zakka 移動店 東京、渋谷にて

沖縄の日常づかいの器が集まった「小さな沖縄の器市」

沖縄県宜野湾市にある沖縄の器のセレクトショップ「mofgmona no zakka」では、「つくり手の存在」が感じられ、かつ「生活の中にあってほしいかどうか」という視点で、日常生活に使える器を選んでいきます。そのなかには、いわゆる「やちむん」に代表されるような「沖縄らしい」器だけでなく、現在進行形の沖縄の作家たちの「今」の作品も多く含まれています。「mofgmona no zakka」は、「CUBE」で過去3回の販売会を開催。毎回会場では、木で作られた棚やテーブルに敷き詰めるように並べられた器が会場を彩ります。沖縄県内から約50程の作家・工房による作品とその魅力を発信しています。

●会期: 2022年12月22日-2023年1月9日 ●来場者数: 約2,000人 ●企画: mofgmona no zakka



パッケージデザイン創作展「水 塩 米 酒」展
100人が考えるパッケージデザインのはじまり、はじまり。

「包む」の原点と未来を想う展覧会

「むかし、むかし、あるところに…」そんな枕詞からはじまる昔話には、「水」「塩」「米」「酒」が描かれ、これらが遙か昔から生きる糧であり、お供物としても馴染み深く、日本人の営みと深い関わりがあったことがうかがえます。そしてこれらの素材は包むことが不可欠とされてきました。それはつまり、パッケージが生まれる源になった素材とも考えることができます。この創作展では、パッケージデザイナー約100名が、時代に沿って変化を遂げてきた「包み方」を現代の私たちの視点で見つめ直し、独創的なアイデアとユニークに満ちたパッケージデザインとして発表しました。新しい表現に触れることで、今までにない新しい「気づき」や「学び」を感じ、「包む」の原点と未来を想う展覧会となりました。

●会期: 2023年12月21日-12月30日 ●来場者数: 約2,900人 ●企画: 公益社団法人日本パッケージデザイン協会

03/ SHIBUYA maru-maru BOOKS



みんなの「偏愛」を集めた、新しい本屋さん

「渋谷〇〇書店 (シブヤマルマルショテン)」は、2021年10月にオープンした“みんなでつくる本屋さん”です。一般的な書店とは異なり、およそ30センチ四方のボックスで区切られた130個の本棚ひとつひとつを月額で個人に貸し出すことで、誰でもが本屋さんになることができ、“本を選び、本を売る”ことを楽しむ体験を提供しています。「渋谷〇〇書店」のテーマは“偏愛”。このテーマには、どんな偏愛のテーマでも、ジャンルでも対応できるような余白があり、可変的でありたいという想いが込められています。店内には小上がりの読書ブースを設け、ゆっくりと本を楽しむ空間をご用意しています。



渋谷〇〇書店 1周年記念パーティー

渋谷に、本好きが繋がるための場をつくる

2022年10月、「渋谷〇〇書店」の1周年記念イベントを「COURT」にて開催。「本が好き」という共通点で繋がる方が集い、交流を楽しむ場を企画しました。棚主は、主婦から会社員、作家、書店販売員、図書館司書、編集者、著者、古書マニアなど、「本」が好きであることはもちろん、自らの「偏愛」にあふれた方ばかり。そんな棚主による1分プレゼンコーナーでは、自分たちの選書に関する思いが語られ、棚主それぞれの個性や人柄が垣間見られる時間となりました。さらに、著者や編集者を招いたトークイベント、朗読会なども実施。棚主同士のコラボレーションで生まれたフードも用意され、「渋谷〇〇書店」の節目を祝う集いとなりました。

●会期: 2022年10月6日 ●来場者数: 約150人 ●主催: 渋谷〇〇書店



「SHIBUYA SLOW STREAM VOL.9」への出店

「本と読書」をテーマにした青空市に「渋谷〇〇書店」が出店

2022年7月、渋谷ストリーム前の稲荷橋広場と金王橋広場で開催された「本と読書」をテーマにしたイベント「SHIBUYA SLOW STREAM VOL.9」に「渋谷〇〇書店」が出店しました。このイベントでは、参加した方々が、渋谷ストリームの大階段や渋谷川沿いのベンチ、広場に敷かれた芝生の上など、思い思いの場所で、この日に会った本をゆっくりと読む時間を楽しむことができます。「渋谷〇〇書店」からは、キャンプや星空、かき氷特集、台湾ごはんの本など、「夏に読みたくなる本」を中心にセレクトしました。さまざまな「偏愛」を持つ棚主がお薦めする本の話で盛り上がり、出展者、参加者ともに楽しいイベントとなりました。

●会期: 2022年7月17日 ●主催: 渋谷ストリーム ●企画・運営: Camp Inc.



47 都道府県のつくり手たちの交流場

日本の伝統工芸や物産、観光やローカルフード、若い世代によるクリエイションやコミュニティデザインまで、日本で唯一の47都道府県のものづくりの今を俯瞰で眺められるミュージアムです。開館から2023年までに33の企画展を開催。47のさまざまな日本の文化をリサーチし、展覧しています。企画内容に連動した、出展者を招いてのトークイベントやワークショップを開催し、出展品や出展関連品の販売を行なうことで、来場者が参加や購入という形で出展者の活動に共感して応援する機会を創出しています。また、全国から同じテーマで活動を行なう出展者が一堂に会し、技術や経験の交流を行なうことで、地域の新たな活動が生まれています。



Fermentation Tourism Nippon

発酵から再発見する日本の旅

発酵文化から紐解く日本の地方文化の多様性

日本の和食文化には、その土地の微生物の力を活かした発酵食品の存在があります。和食における発酵食品というと、日本酒や味噌、醤油や納豆など、日常の食卓になじみのあるものを思い浮かべますが、実は日本各地にはその枠には収まらない多種多様なローカル発酵文化が根付いています。本企画展では、発酵デザイナーの小倉ヒラクがキュレーションを行ない、47都道府県の各地へ実際に足を運び、発酵文化を訪ね、東西南北津々浦々で受け継がれてきたローカル発酵文化を体系化することで、日本の食文化、そして郷土文化の脅威の多様性を深く理解する展覧会を開催しました。また、全国の発酵文化を旅した展覧会公式書籍の出版も行ないました。

●会期: 2019年4月26日-7月22日 ●来場者数: 48,700人 ●キュレーター: 小倉ヒラク ●主催: D&DEPARTMENT PROJECT ●協賛: 「カルピス」(アサヒ飲料株式会社)、株式会社環境ダイゼン、株式会社ピオック・株式会社靴屋三左衛門 ●協力: ALL YOURS ●展覧会公式書籍: 『日本発酵紀行』/著者: 小倉ヒラク (発酵デザイナー) / 発行: D&DEPARTMENT PROJECT



d design travel KANAGAWA EXHIBITION

神奈川県個性を、「デザイン」と「旅」の視点から見る展覧会

47都道府県別に、その土地ごとの個性をデザインの視点で案内するトラベルガイドブックシリーズ『d design travel』と連動した展覧会を開催しています。本展は『d design travel KANAGAWA』の出版記念として実施しました。編集部が現地取材した“その土地らしさ”を、掲載先で実際に使用されている仕事道具や備品、装飾品などを展示することで再現し、誌面だけでは収まりきれない魅力を立体的に伝え、神奈川県を旅したくなるきっかけをつくります。会期中には、セレクトされた県産品の販売やトークライブ、ワークショップなどさまざまなイベントを企画しました。また、同フロアの「d47 食堂」では「神奈川県定食」を提供。小田原の宿場町や、鎌倉、三崎、横浜の中華街など、人の営みや歴史と共に育まれた食文化を紹介し、多角的に神奈川県らしさを発信しました。

●会期: 2023年4月7日-7月9日 ●来場者数: 約17,600人 ●企画: D&DEPARTMENT PROJECT ●展覧会公式書籍: 『d design travel KANAGAWA』/発行: D&DEPARTMENT PROJECT

05/ Bunkamura Gallery 8/



Bunkamura Gallery 8/ オープニング記念 第二弾「シェイプ!」
●会期: 2023年8月3日-8月15日



レイモン・サヴィニャック展「バリエーションで笑顔を飾ろう」
●会期: 2023年12月23日-2024年1月8日

良質なアトライトとの出会いを提案

「Bunkamura Gallery」は、1989年の「Bunkamura」開館当初から暮らしに寄り添うアートをコンセプトに、さまざまなジャンルの企画展を開催し、多くのお客さまがアートに触れるその瞬間に立ち会い、アートを部屋に飾る、コレクションするという楽しみを共有してきました。そして東急百貨店本店跡地の開発による「Bunkamura」施設休館（オーチャードホールを除く）に伴い、8/に場を移し、「Bunkamura Gallery 8/」として活動を続けます。これからもオープンな空間で、アートとの新たな出会い・接点をつくること、さまざまな価値を共有でき、持続性のあるコミュニケーションの場であることを目指します。



Opening Selection -Bright, Calm, Dark-

Bunkamura Gallery 8/ オープニング記念第一弾

総勢 20名のアーティストによる最新作を披露

「Bunkamura Gallery 8/」オープニング記念企画の第一弾として、『Opening Selection -Bright, Calm, Dark-』を開催しました。これまでに「Bunkamura Gallery」で個展やグループ展を開催した話題のアーティストたち、さらに今後の活躍が期待される注目作家まで、「Bright」「Calm」「Dark」のカラーをイメージし、それぞれ3会期に渡りセクションしました。鮮やかな色彩をまとう「Bright」、静の中に躍動する「Calm」、背徳的な美学を追及する「Dark」。総勢 20名のアーティストの最新作を中心に紹介。新天地でのお披露目となる今展は、「Bunkamura Gallery」ならではの特別なセクションで、オープニングを飾るにふさわしい記念の展覧会となりました。

●会期: 2023年6月10日-7月30日 ●企画: Bunkamura Gallery 8/

「1+1」 奥村彰一 + 高嶋英男

Bunkamura Gallery 8/ オープニング記念第三弾

表現の可能性に挑み続けている中堅作家の2人のマリージュ展

「Bunkamura Gallery」でこれまで行ってきたグループ展にて、ひととき存在感を示した精鋭作家2名をクローズアップする『1+1』シリーズの第一弾。初開催となる本展で紹介したのは、岩絵具や箔を用いて色彩豊かな桃源世界を描く、奥村彰一。そして、人や動物の頭部が壺となった陶器作品で「空っぽ」を表現する、高嶋英男。それぞれの作家が構成する“ひとつ”と“ひとつ”の世界が並ぶことで、新たに生まれる重なり合い……。実力と経験のある2名のアーティストが織りなす、作品空間となりました。また、会期中には高嶋によるワークショップも開催。好みの容器を粘土で形付けながら出来上がっていくオリジナルの「いきもの」を自由な発想で制作し、多くの来場者楽しんでいただきました。

●会期: 2023年8月19日-9月3日 ●企画: Bunkamura Gallery 8/



47都道府県の郷土の味と文化を伝える

47都道府県の個性とらしさを「食」から考える定食屋です。デザイン
 トラベルガイドブック『d design travel』の取材を通して出会った方々
 から仕入れた、四季折々の、その土地ならではの食材を使い、地域の
 文化や歴史、つくり手の想いがこもった郷土の味をひとつの定食にして、
 「おいしく正しい日本のご飯」を提供しています。生産者を招いての
 勉強会やワークショップ、角打ちなどを定期的で開催し、良い食に
 ついて考えるとともに、47都道府県の個性を伝えています。

左上から ●高知定食 ●三重定食 ●福島定食 ●鹿児島定食 ●神奈川定食 ●岐阜定食
 ●埼玉定食 ●愛知定食 ●香川定食 ●岡山定食 ●福井定食 ●愛媛定食
 photo by 安永ケンタウロス、山崎悠次



茨城県央定食と茨城県央を味わう食の旅

茨城県央の食をめぐるフードツーリズム

茨城県央地域は海と山と肥沃な大地、豊かな自然に恵まれた食の宝庫です。「d47 食堂」の料理人がこの地域を巡りながらつくり上げた「茨城県央定食」は、那珂湊で水揚げされた地魚の干物をメインに、伝統食のつと豆腐、沿岸部と平野部で味の異なる干し芋の食べ比べ、養分の高い土壌で作られる根菜のけんちん汁など、地域の風土と食文化を感じられる定食になりました。2020年1月には茨城県央の食を巡る「d design travel IBARAKI CENTRAL AREA スペシャルツアー」を実施。定食開発の旅を通して出会った生産者を実際に訪ね、土地の豊かさの背景を巡る追体験プログラムを実施し、茨城の食文化をつくり上げる背景をひとつひとつ参加者の皆さんと実際に味わいながら学びました。

●会期: 2019年11月13日～12月10日 ●ツアー実施日: 2020年1月25日 ●協力: いばらき県央地域観光協議会

木桶による発酵文化サミット in 東京 2022

日本の食文化に欠かせない木桶の味わいを、この先も繋いでいく

醤油、味噌、酒など、日本の食文化に欠かせない発酵食品を支えてきた木桶を、次世代へ繋ぐと活動する生産者や木桶職人が集結し、情熱や志を同じくするつくり手や消費者へ向けて木桶文化を発信するイベントが「木桶による発酵文化サミット」です。发起人であり、桶屋に自ら弟子入りした香川県・ヤマロク醤油の山本康夫さんは、少ない市場を奪い合うのではなく、同じ志の関係者が連携して、木桶商品の国内流通を1パーセントから2パーセントにすることを掲げています。「d47 食堂」では、木桶サミットに合わせて木桶仕込みの調味料を使い、その地域の郷土料理をつめ込んだ「木桶定食」として提供しました。これからも続く木桶の食文化を、食べることで、伝えることで応援していきます。

●会期: 2022年11月13日 ●参加者数: 約110名 ●主催: 木桶職人復活プロジェクト、D&DEPARTMENT PROJECT

Creative Lounge MOV



07 / Creative Lounge MOV / KOKUYO

多様な人々が集い、ゆるやかに繋がるワークラウンジ

「Creative Lounge MOV」は、ココヨ株式会社が運営するメンバー制のワークラウンジです。ドロップインも可能なオープンラウンジ、スモールオフィスに最適な登記もできるレジデンスエリア、30分から予約できる貸し会議室や、週単位で展示の変わるショーケースと、さまざまな用途に対応する空間で構成しています。この場所に、2012年4月のオープン以来、業種も世代もキャリアも国籍も異なる人々が集まり、専門性の高い知識やアイデアが共有され、ゆるやかなコミュニティが生まれてきました。目まぐるしく変化する渋谷において、個人と個人のつながりや、新しいことに挑戦していくエネルギーを生み出し続ける場でありたいと思っています。



MOV ICHI – モヴ市 –

好きを仕事にする達人たちが集う、はたらく大人の文化祭

2024年で11回目の開催となる「MOV ICHI (モヴ市)」は、普段MOVを共有するメンバーたちが主体となって来場者をおもてなしする、コワーキングスペースとしては他に類を見ないイベントです。この日だけの限定ショップ、おいしいフードスタンド、新しいサービスや作品の紹介、親子で楽しめるワークショップ、今すぐにも役立つトークショー、ワクワクするゲームやパフォーマンス、刺激的なピッチイベントなど。遊びにも、暮らしにも、ビジネスにも、ちょっといい明日に繋がるスペシャルな体験を詰め込んでいます。普段はクローズドなラウンジも開放し、子どもから大人まで楽しんでいただけるイベントです。



MOV Channel

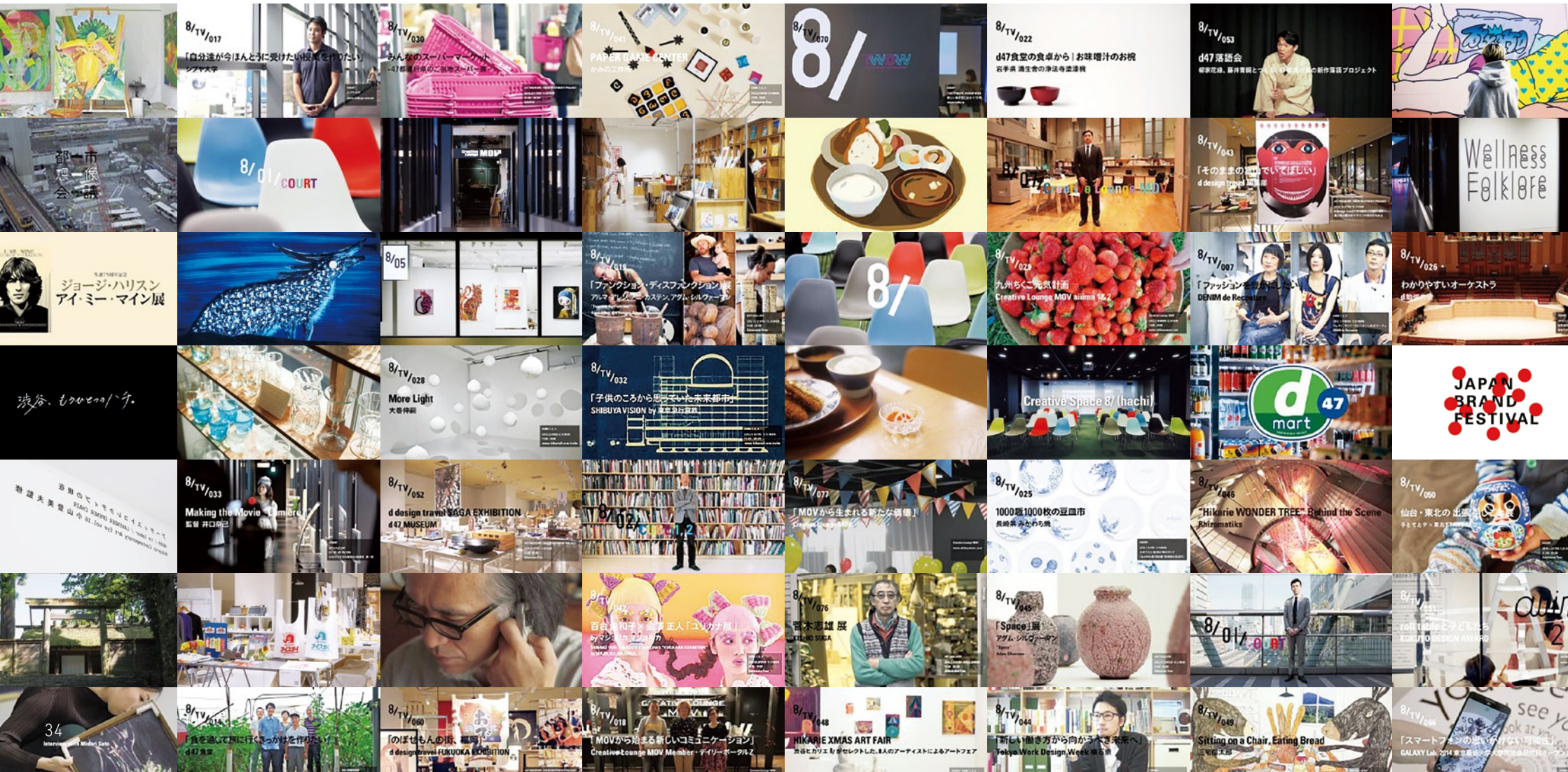
MOVメンバーの活動を紹介するオウンドメディア

『MOV Channel』は、2017年から続けている、MOV独自の活動で、MOVの大きな魅力である、この場所で育まれたコミュニティと、それを形づくるメンバーを紹介しているオウンドメディアです。個性豊かなメンバーのユニークな活動にフォーカスして、インタビューや対談、告知情報や協働の実例などを紹介するほか、メンバーたちの仕事をレポートする「しごと探訪」のように、MOVの外に出て収録することもあります。インタビュー記事には、暮らしやビジネスに役立つヒントも多数。MOVを知らない方のためにも、この場所のリアルな空気が伝わるよう、すべての記事をMOV内部で制作し、情報を発信しています。

8/ が制作するクリエイティブ動画配信サイト

展覧会出展作家のインタビューや、日本のローカルなものづくりのドキュメンタリー、開催イベントのレポートなど、8/ で行なわれるさまざまなクリエイションを発信する動画配信サイト。

<https://www.hikarie8.com/tv/>



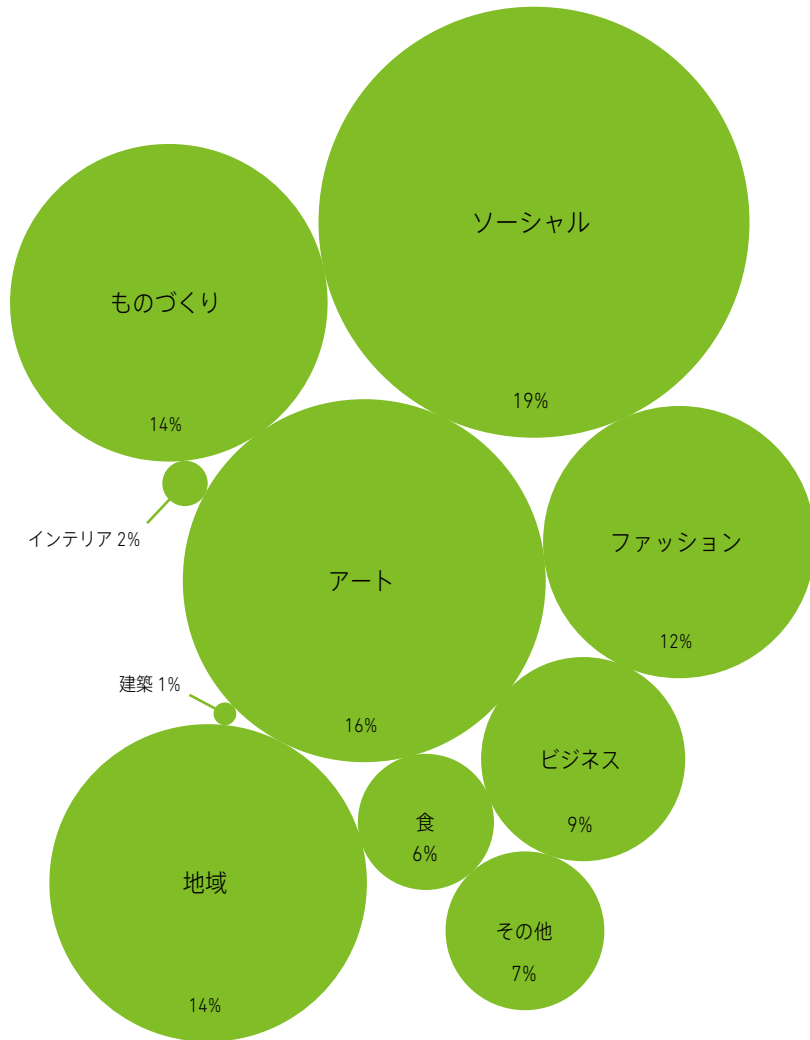
/ SHIBUYA WANDERING CRAFT

「SHIBUYA WANDERING CRAFT」は、渋谷らしい新しい発見や出会いの場として開催している夏の企画展です。タイトルの「WANDERING」には、wonderful (驚き) と wandering (疑問) の2つの意味を込めています。2014年から「旅」「暮らしの再定義」「本」「渋谷」「DIY」など、毎年さまざまなテーマを設け、新たな発見や価値観を与えてくれる担い手と共に開催。ワークショップやトークセッション、展示などを通じて、発見し、考え、交流することを目的とした、8/ならではのイベントです。



「COURT」企画テーマの割合

(2019～2023年度)



利用者の声

- 今回で4回目の開催ですが参加者も毎回増えていて手ごたえを感じています。
- フлариと立ち寄って下さる方や外国からの観光客も多く、たくさんの方に作品をご覧頂く事が出来ました。
- インバウンドの方や、アート思考の方が自然と足を運んでくださるので、良い出逢いもありました。
- 場所・設備・広報などイベントを開催するのに、非常にバランスが良いです。
- 普段の美術展とは異なる層の方々に作品をみていただけて良かったです。
- まずは会場ありきで企画を検討しました。首都圏での認知度向上に繋げることが出来ました。
- 他イベントの集客力の恩恵もあり、過去最高の集客となりました。
- 様々なメディアに取り上げられ、企画の周知につながりました。
- 下が緑のじゅうたんで、芝生の上でパークヨガを行っているようで気持ちが良かったです。
- 渋谷のお客様の層が予想以上に良かった。
- ふらっと立ち寄った・参加した方々の満足度がとても高かったです。
- お客さまには「ヒカリエ」の知名度が高く、DMなどでご案内すると「アクセスが良いので是非来ます」とのお答えが多かった。
- 館内告知(サインージ・チラシ)が充実しており、初めて企画を知ったお客様も多くご来場されました。
- 予想以上の集客があり、外国の観光客等の反応もあり参考になりました。
- ヒカリエの集客層が、新しい情報に敏感な方が多いことに感じました。
- 運営者の皆様にご対応いただけたため、スペースの雰囲気がよく、会場の雰囲気も和やかになった。
- フロアの客層としては地域や文化などのキーワードに興味を持っている方が多かったです。
- クリエイティブな雰囲気溢れる空間で、私たちの展示がよりいっそう引き立ちました。

COURT

2019年度 INTERIOR OUTLET MARKET / G-Exhibition 2019SS / Design Scramble Market / シンピカ博 2019 / 「絵を描く衝動」 シンポジウム / 匠のデザインギフト / VIO マルシェ ミニト The Gift / 良い食博覧会 2019 / Tshirts LABORATORY / 「平成生まれ」のための令和的勤労戦略大相談会 / < TONKACHI STORE > / 渋谷セカンドステージ vol.21 *以後定期的に開催 / 夏の食祭 Tableware Show!! / グッドライフカンファレンス / 「地域福祉×デザイン」ゼミ *以後2019年開催 / 渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ オープニングイベント / 日常関係・中国生活デザイン展 / ことばの NEWTOWN / 熊本イノベーションスクール Project180 東京説明会 / ~アニメで知る「バラスーツ」展 ~ / MONSTER Exhibition *以後毎年開催 / 「AYDA 2019」 / プログラミングサマーキャンプ / J-WAVE と She is のお祭り / SHIBUYA WANDERING CRAFT *以後毎年開催・CUBE 同時開催 / ラグビーワールドカップ 2019 日本大会を 10 倍楽しもう! / 超福祉展 *以後定期的に開催・CUBE 同時開催 / d design travel show *以後定期的に開催 / BIT VALLEY2019 / -SOCIAL INNOVATION WEEK SHIBUYA2019- / オトナのための「マナビとアソビの実験室」 / 私たちの SDGs *複数回開催 / d47 落語会 *以後定期的に開催 / 珠洲「物産」展 / woman's health academy / 渋谷 真夜中の映画祭 2019 / ポストカード ラボラトリー / Creators Meet TAKAOKA / DISCOVERED / nobuyuki matsui / SHINYAOZUKA / TOKYO FASHION AWARD 2020 受賞者発表式 / FASHION PRIZE OF TOKYO 2020 受賞者発表式 / minna とみんなのハッピー祭り ~ SPECIAL DAY ~ / プラグインセミナー / 東京カカオ発売に関する記者発表会 / 良物倉敷 - ぐらしよきもの / ACME/JOURNAL STANDARD FURNITURE GARAGE SALE / みかわち焼 1000 題 / TWINS DAY JAPAN2019 / まつだ|棚田バンク収穫祭 / Tokyo Work Design Week 2019 *複数回開催 / すぎなみ大人塾 / 宇治茶の味わい体験 / 日本茶 AWARD / 建設 2030 オープニングパーティー / Variations-アートの可能性 / 京友禅総合展 / CO+VISION / CREATIVE HACK AWARD2019 / 『いただきます こはは、発酵の楽園』 試写会 & トークショー / Industrial Revolution2019 / 瀬戸ツクリテの手仕事 *以後定期的に開催 / Experience KAORIUM / Present for me by BASE / Seasons Greetings'19 / C/STORE2019 / Karuta2020 / バザール *以後 2023 年開催 / 羽田空港機能強化に関する住民説明会 / DOUJIN SHIBUYA / いいね! かつつながるマーケット Instars / 台湾地方創生展 日本特別展 / 不動産で新たな市場を開拓するサブスクリプションモデルとは?! / 鹿児島×渋谷 クリエイティブ・シンポジウム / 縄文エシカルサミット / ショコラ ZAKKA フェスティバル *以後定期的に開催・CUBE 同時開催 / MOV 市 *以後毎年開催 / かまじこ **2020年度** 『わかりやすい民藝』出版記念トーク / SHIBUYA PIXEL ART CONTEST2020 / サモン / これからの実店舗のあり方を「EVERY DENIM」から学ぶ / SADOKOI 佐渡に来いっチャ! 文化 & 収穫祭 / シンヤ モダンソフビ マーケット / LLD2 トーク「民藝の誤解を解く」 / サカイケイタ個展 * CUBE 同時開催 / #ハッシュタグテイバ / #ハッシュタグクリエイターズ / JAPAN BRAND FESTIVAL *以後毎年開催 / 第5回シンヤモダンソフビマーケット / 「まとうを楽しむ」 / CHRISTIAN ROLAND SPRING POP UP STORE / **2021年度** 『G』2021 ss EYEWEAR TRADESHOW TOKYO / コミッティスクール / Hikarie Contemporary Art Eye vol.15 トークイベント / 第参回シンヤモダンソフビマーケット / ZINE MARKET *以後定期的に開催 / 東京渋谷のデザイントラベルを考える *以後複数開催 / Rakuten Fashion Week TOKYO2022SS / TOKYO FASHION AWARD2022 受賞者発表式 / 超福祉の学校 *以後毎年開催 / Get to Know Myoko City 新潟県妙高市を知る / 文化服装学院【RE・TENT】 / 木桶による発酵文化サミット in 東京 *以後 2022 年度開催 / 渋谷〇〇書店棚主交流会 / ネコに学ぶ、これからの働き方。 / 地域スクランブル大作戦 *以後定期的に開催 / 石川県伝統工芸展 / 蓋展 炊き出し & トークショー / Dialogue in the SHIP2021 / 第四回シンヤモダンソフビマーケット / の・ようないち / コゴモモ展「Arts. 森」 / TOKYO KNIT 総合展 *以後翌年開催 / 「越後妻有 大地の芸術祭 2022」発表会 *以後関連イベント複数回開催 / 第伍回シンヤモダンソフビマーケット / **2022年度** 渋谷再発見 2022 / FASHION REVOLUTION WEEK2022 / 「omoomocity」写真展・トークイベント / 老いし生活 ~人生 100 年時代をゴキゲンに暮らすにはどうすればいいですか? / 2012-2022 SHIBUYA CHRONICLE / (洪) 雑居マーケット / d SCHOOL *以後定期的に開催 / kijj arita Exhibition2022 with 530week / VIDEOGRAPHERS TOKYO2022 / LIFE TUNING DAYS 全国ヨガリレ太陽礼拝 108 回 / おおいた IT 移住プロジェクトオフラインイベント in Tokyo *複数回開催 / 60% meets TOKYO popup store *複数回開催 / Art to ____ (アートスペース) / ケンエララゲン / 水産物の品質とトレーサビリティに関する試食実験 / I am B tokyo *以後定期的に開催・CUBE 同時開催 / [DAIWA] BE EARTH-FRIENDLY / ものにはまわりがある展のキーマンが集う特別座談会 & トーク / 光岡さんと公開打ち合わせ / ピクセルアート授賞式 / アニメ地域おこしフェア / 鹿児島×渋谷クリエイティブシンポジウム / TOKYO TEA PARTY2022 / WIRED CREATIVE HACK AWARD2022 最終審査会 & 授賞式 / ご当地フロント展 / 第陸回シンヤモダンソフビマーケット / 京友禅新商品開発展 / アーティストトランススペースの謎を解く / 地域スクランブル大作戦 × 100 人カイギ / コラボイベント / me and you' 光へ向かうホームパーティ / バンタン卒業制作展 2023 * CUBE 同時開催 / メタバースへ行く & コンテンツ保有企業の NFT 事業のはじめ方 / トヤマズカンキョクオフトークセッション / クラフトプレス・ミーティング / 47 手芸店 TALK SHOW / ZERO-TEX* が奏でるサステナブルストーリー / 国際海洋環境デザイン会議 Side: Education / TOKYO CREATIVE TALKS / おしえあイズムでつなぐ、歯科業界と美容業界 / 渋谷ファッションウィーク 2023 春 / **2023年度** トークイベント「ぶっちゃけ、怪人の生活ってどう?」 / Family Game Center/ ファミリーゲームセンター / #シンブラバ / JUNKTION / 「リアルな場の価値」っ

てなんだろう? / BEAUTY SALON FUTURE SESSION / Crypto Art Fes2023 / かもめ児童合唱団が、渋谷ヒカリエに来るっ! / カフェゼミ *以後定期的に開催 / ソールライター日本関係蔵書展 / 「MET って何? ~文化発信地 NY の舞台裏~」 / 生活の解体展 土と野菜を解体してみよう / 「ムコビ」づくりのワークショップ & 越後妻有・大地の芸術祭マーケット / カラフルフェスティバル / アートを DIY! / ピース de ミライ / DESIGN PERSPECTIVES

CUBE

2019年度 大地の芸術祭「アート/ブックのとても大きな部屋: 読む・作る・考える」 / Qulo × GEN MIYAMURA DUAL EXHIBITION / 世界のボードゲーム展 / 「VU」ウー! *以後複数回開催 / 平野あゆみ・長谷川朋子 ふたり展 / Hikarie Contemporary Art Eye vol.12 / "ARTISAN" / GOOD ROCKS! PHOTO EXHIBITION2019 / 線と四角と / 人気俳優達の写真集を撮影する写真家 荒木勇人作品「SESSION」 / GALLERY 龍屋 選抜作家展 *以後定期的に開催 / 令和土偶 ソブクレイジー2 / 光彩の器展 *以後定期的に開催 / ~麗しき女子陸上競技の世界 服部由美子作品展~ / レバップ ネオ・カウンター・シェイプ vol.8 / forward / 有田・唐津・薩摩 陶芸家3人展 / 珠洲焼展 / MELANCHOLIA / KAAPIO 2020SS collection / niitu 2020SS Collection / P.E.O.T.W AG 2020 SPRING & SUMMER / minna とみんなのハッピー祭 / 斎藤清作品展 / 長崎みかわち焼展 / 次世代の輪をつくるワークギャラリー / DELIRIUM 本能を呼び覚ますアート展 *以後定期的に開催 / 2019 染織意匠 - 図案コンペ 東京発表会 / Réve des Anciens - 古代人の夢 - / 9人の眼 - 9人のアーティスト / 台湾地方創生展 / 吉田明広写真展 / 15th TAGBOAT AWARD / JAPAN BRAND FESTIVAL *以後定期的に開催 / omnis 「EVOLVING」展 *以後定期的に開催 / Azuma. 2020-21 FALL WINTER COLLECTION / kaiki 2020 Autumn/Winter Collection / FW20 BASE MARK COLLECTION / **2020年度** 小笠原盛久展 / 「今」展 / SHIKAKU - シカクイ生地と絵から生まれた服たち - / 竹谷嘉人「創」展 / VINYL KANNON ソブクレイジー3 / KAMADO EXHIBITION the norm / 2020 年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展 / record アーティスト支援企画 / ナカミツキ作品展 / VANISHING POINT / ANT-AID & Quantize2021/S COLLECTION EXHIBITION / meagrata Spring/Summer2021 Exhibition / CHONO 2020AW POP-UP SHOP / BALMUNG 21SS "unfinished blue" / 川端実「Form Fullness」在ニューヨーク 35 年の仕事から / ダ! / アートラボ・グループ アートショー / PrintScape 版画制作を通して感じた世界 / 美術は画家によってこの世界の本质に迫る展 / morfomona no zakka 移動展 東京、渋谷にて *以後定期的に開催 / BALMUNG 21AW "N/O/I/T" / meagrata Fall/Winter2021 Exhibition / スマホの力が現実。 / **2021年度** 工芸的視点と写真展 / JAPAN SHODO SHOW / The 16th TAGBOAT AWARD / ラウایتホフワイルユール! / 墨に想いをこめる書家 小櫃凜泉 個展 *以後 2022 年にも開催 / 3 人のキュレーション「美術の未来」 / 西崎純個展 / 渋谷 rock'n'syobu 坂福 公開制作 / 九州の陶芸家・陶器と磁器 *以後毎年開催 / 写真展「ポジティブエナジー」 / VIVITA BOOKS2020 えほんプロジェクト / デニムプロジェクト / 8/ActivityReport パネル展示 / 創作展 みらいパッケージ展 / STAND! / 筆とマウス / WE ARE IN THE SAME GAME2021 Exhibition / Mana Osawa 個展「Red Sensation」 / 蓋展 / アンタカタン個展 / 「すべて光」川上なな美・熊谷直子写真展 / TOKYO & AROUND TOKYO PHOTO CONTEST2021 写真展 / TOKYO KNIT 総合展 2022 / 高橋文子 個展 / 素材メーカーが挑戦するサステナブルなモノづくり展 / **2022年度** Essential Silent Auction22 / 利光春華個展 / 角文平 個展 / STELLAR MARIE LEPETIT / CAROLINE CORBASSON / 山中夏歩 ポートレート写真展 / 前澤心太郎展 - 絵画を飛び越える - / NATURE/CODE/DRAWING / せつはよと作品展「From the Travel」 *以後 2023 年開催 / ひつじの皮をかぶった絵画教室 Art School LUKANOSE / JFW NEXT BRAND AWARD2023 EXHIBITION *以後同年開催 / ファッジ 20 周年ギャラリー / CASIO Presents Music Tapestry Exhibition / ShibuyaPixelArt RECONNECT / 青山裕企の写真思春紀 写真家 17 周年・著書 100 冊刊行記念展 / -14.1° C / paysage △ / 原石の輝き展 -Connection- 女性編: その 2 / C& DigitalArt Exhibition 光と映像 - 混ざり合う音 / 共鳴し融合する木箱 / 「全国ご当地フロント展」エキシビジョン / 怒狂想曲 ホームシックラプソディ / アーティストコレクティブの現在 / TOKYO KNIT 総合展 2023 / C/STORE Art&Design 3 Wonderful Artists / 櫻書屋「思色の活性」展 / **2023年度** L8r2020+1- さらば 2020+1 / 本と版画 *以後同年開催 / 100 My Licca「わたしのクローゼット」展 / 層像 / noon / Processing Community Day Tokyo / In a well / いまはこれしき言うことができない / ROOM206 Vol.2 ナイン・フィッシュストーリー / 遠き山に日は落ちる / HAZAI PICKING vol.1 イチゴ持りのな / ウチポリシンペ 8th Solo Exhibition / ひつじの皮をかぶった絵画教室展 vol.2 / ローダース Graphic & Sound Make Exhibitions# Loaders# / Contact #4 / Poster & Motion / 「VU」III! / ウー! 3 / Riki Osawa 3rd Solo Exhibition 「C3LLGRAPHY」 / 青山裕企 写真展 / Segreto Anna Madia / パッケージデザイン創作展「水 塩 米 酒」展 / 渋谷猫張り子と仲間たち / Oldies but Goodies 松下進 50 周年記念個展 / My room アヤコナカドライブラワーアレンジメントスクール作品展 2024 / 極並佐伯展 MY NAME IS」 / GENGO 変体する文字表現 / Hope for Tomorrow / Algorithm-Formed Kimono

サブタイトルなど省略して掲載

開業から12年、8/はあらゆるイベントを通じて
さまざまなつながりを生み出してきました。

特にこの数年間は、世界がパンデミックに見舞われ
人と人との関わり方、イベントのあり方が問われるなか、
8/に関わるみなさまとともに、8/の在り方を模索し
8/だからこそ生み出すことができる価値を探し続けた日々でもありました。

そうした社会の変化とあわせて、再開発が進む渋谷においても
変わらないつながり、新しいつながりを大切に
8/らしい価値を生み続けられたことを、この場を借りて感謝いたします。

これからもみなさまと新しい可能性を探りながら、
「Creative Space 8/」を一緒につくっていきたいと思っています。

01

COURT

8/19(土)
12:00~17:00
土と野菜を解体してみよう

8/20(日)
11:00~18:00 (ワークショップ17:00まで)
「マユビト」づくりの
ワークショップと
船橋豊有・大地の芸術祭
マーケット

8/22(火)~8/25(金)
11:00~17:00
カラフルフェスティバル

8/26(土)
11:00~14:30 9:00~12:30
アートをDIY! 粘土でつくる
“空っぽ”のいきもの

8/27(日)
11:30~13:00
ワークショップ 14:00~18:00
@ SCHOOL 889キッズDIY
-KAKデザイングループから学ぶ、
日本のDIYのはじまり-



8/ Activity Report 2019–2023

2024年8月20日 発行

編集・発行 Creative Space 8/
〒150-8510 東京都渋谷区渋谷 2-21-1 渋谷ヒカリエ 8階
03-6418-4718
<https://www.hikarie8.com/>

協力 株式会社アートフロントギャラリー
&Co.
コクヨ株式会社
ディアンドデパートメント株式会社
東急株式会社
株式会社東急文化村

Printed in Japan

本誌掲載の写真・記事の無断転載を禁じます。

Copyright©2024 Creative Space 8/ All rights reserved.



- 01/COURT
- 02/CUBE 1, 2, 3
- 03/SHIBUYA maru-mar u BOOKS
- 04/d47 MUSEUM/D&DEPARTMENT PROJECT
- 05/Bunkamura Gallery 8/
- 06/d47 SHOKUDO/D&DEPARTMENT PROJECT
- 07/Creative Lounge MOV/KOKUYO

8/